



国民に寄り添ったコロナ経済対策を！！

新型コロナで色々な人が困っている。食堂や旅館はお客が来ない。労働者は解雇されたり。それに対して特別定額給付金や持続化給付金、Go To等、色々な制度が作られた。

Go To等の問題

Go Toトラベルでは料金の高い所がずらり。ネットを操る大手は儲かる。産経には「『Go To』民宿は蚊帳の外」とある。一泊数千円の民宿では、割引とかクーポンも少額。使っても知れている。時間にゆとりがあり、ある程度お金がある人しかGo Toは使えない。子供の預け先がなくなつて働けない母親、解雇された人、介護の為に出来ない人達には高額の花だ。

も迅速に支給。本当に困っている人にのみ、金額を増やし給付したら良いと思う。しかし、所得制限には審査に手間と時間がかかると云われて居る。それなら、支給の時に審査するのでは無く、確定申告を利用したらどうか。高額所得者は給付金相当を国に返す事にすれば良い。そうすれば高額所得者は給付金の申請をしない。一方、収入の少ない人は所得に給付金を含めても、課税の対象にならないだろう。この際、消費税をゼロにすれば、消費支出の実質を10%増やせる。Go Toトラベルのような複雑な手続きは要らさずスッキリ。国民に寄り添うとはこういうことではないか？

特別定額給付金は審査無し。高額所得者にあなたはどうか？

紅葉の笛吹川

山梨県山梨市西沢溪谷
ネトリ大橋の下流方向

二〇二〇年十一月



十一月も半ば。落葉松は下の枝から紅葉が進むのだろう。頂部を除き、葉が落ち、細い枝が入り組んでいる様子が見える。

これではハヤブサなど鷹の仲間も接近しづらい。栗鼠や冬眠鼠もこの森なら安心できるのだろう。

溪谷の広葉樹林には黄葉が多い。その中で、ところどころにある楓が鮮やかな紅葉の彩りを添える。

一陣の突風が吹くと、梢がサワサワツツと騒ぎ、谷の両側から枯れ葉がはらはらと川面に舞い落ちる。

川底には見えない石でもあるのだろう。流れて行った黄色い葉が戻ったり、くるくる向きを変え、流れに逆らっているように見えるが、結局は流されて行く。

